

平成27年度 明石市地域自立支援協議会

くらし部会 リポート Vol. 8 平成27年12月

発行元：明石市地域自立支援協議会 くらし部会事務局

住所：明石市貴崎1丁目5番13号（明石市立総合福祉センター1階）

電話番号：078-924-9155 ファクシミリ：078-924-9134

【意見投稿用アドレス】 akashi_jiritsushien@yahoo.co.jp

会員専用のメールアドレスをご用意していますので、皆様からの情報提供やご意見をお待ちしています。

みなさま、こんにちは。くらし部会のワーキンググループ「高齢障害者の支援を考える研究会」から、10月2日（金）に実施した研修会、「**高齢障害者のより良い生活を目指して ～制度の狭間の問題を考える**」について報告します。

当日は、障害、高齢の各分野から、約120名の方にご参加いただきました。

前半は、高齢障害者支援を研究テーマとされている関西福祉大学の谷口准教授を講師に迎え、高齢障害者の支援における現状と課題について、制度の狭間の問題や地域で支えていく仕組み作りの重要性などをご講義いただきました。

後半は、大地の家の宮崎サービス管理責任者、博由園の満吉サービス管理責任者、関西青少年サナトリウム（現：リウム）の北代PSWが、所属部署における高齢障害者支援の実践報告を行いました。

神戸新聞に記事が掲載されましたので、ご覧ください。

高齢障害者支援考える 大久保
研修会に福祉関係者ら120人



高齢障害者への支援をテーマにした研修会がこのほど、明石市立産業交流センター（大久保町ゆりのき通）で開かれた。約120人が出席した。研修会では、関西福祉大学の谷口准教授が「高齢障害者は法制度のほざまにあり、存在を知られず支援の手が届いていない例も多い」と説明。今後、その数は増えることを予測し、「障害への支援に加え、家庭や地域での孤立、貧困問題などへの対応も必要」と指摘した。

席。今後の取り組みなどをめぐり意見を交わした。市や福祉施設の関係者らでつくる「市地域自立支援協議会」のくらし部会が主催した。基調講演では、関西福祉大学の谷口准教授が「高齢障害者は法制度のほざまにあり、存在を知られず支援の手が届いていない例も多い」と説明。今後、その数は増えることを予測し、「障害への支援に加え、家庭や地域での孤立、貧困問題などへの対応も必要」と指摘した。

施設スタッフは「医療的なケアや介護の比重が増え、対応が難しくなっている」「介護に必要な設備がない」など、現場の悩みや試みを報告。高齢者分野の支援者との連携を深める大切さにも触れた。（新聞真理）

研修終了後のアンケートで貴重なご意見をいただきましたので、ほんの一部になりますが、ご紹介させていただきます。

【ご意見】

- 他施設の現状を知ることができて参考になった。高齢化の問題をより身近に感じた。精神、身体、知的の障害を抱えた方の特徴の違いが分かり、とても良かった。(障害)
- 高齢障害者の課題は、高齢分野、障害分野が一体となって考えていかなければならない。制度の狭間の問題である事がわかりました。(高齢)
- 実例を出して、現状の制度の中で支援者がどのように努力されているのか、ありのままを発表して頂き、安易に答えを導くのではなく問題提起をして頂き、今後どのように考えていけばいいのか、一緒に考えていくきっかけができたと思いました。(高齢)
- 高齢障害者だけでなく、家族の状況、地域社会の課題がある事に気づき、複雑な課題である事がわかりました。(障害)
- 福祉・医療、どの現場でも、高齢に伴う身体、医療介護への対応が困難になって支援者の方々は皆ギリギリの状況と熱意でされていると感じました。今後もっと知恵を持ち寄って助け合い、いい形を模索していかなければと思います。(障害)
- 高齢者施設には、精神、知的、身体の障害を持つ方は重度、軽度様々な方が入所されています。高齢障害者の実態を明石市内だけに求めず、県内外を問わず知るべきではないでしょうか。(障害)
- 谷口先生の話の中でもあったが、高齢者、障害者どちらも合わさったケースの場合、連携先や連携の仕方、役割分担をどのようにしたらよいか悩む事がある。(高齢)

今回の研修は、入所施設や精神科病院での高齢障害者の支援における現状と課題を知ってもらうために開催しましたので、研修目的は、ほぼ達成できたのではないかと感じています。

しかし、アンケートで寄せられたご意見を見ると、在宅の高齢障害者の課題等も共有していく必要性を改めて感じました。

【次年度の取組み】

今回の研修を通じて、多くの方から、障害福祉分野と介護保険分野の「連携の在り方」について考えるべきとのご意見をいただきました。次年度は、高齢障害者の支援における課題を共に解決していく仕組みについて整理し、新たなネットワーク作りを目指すことを目標に活動したいと考えています。

次年度もよろしくお願いいたします。



左から

宮崎さん、北代さん、満吉さん、谷口先生、鳥居くらし部会長